

### 観光振興

**問** 12月1日に開催されたJR主催による駅からハイキングの総括と、今後の市のブランドイメージ向上に向けた取り組みは。

**答** 駅からハイキングに県内外から813名のお客様にお越しをいただいたことは、大変大きな意義があり、市の活性化を図るうえで大きな推進力になるものと認識しています。

特に、自発的に率先しておもてなしをされました市民の皆様、温かな取り組みに対して感謝を申し上げるとともに、当市を訪れた皆様に市民の心意気が十分伝わったのではないかと考えています。

今後の市の知名度向上への取り組みについては、駅からハイキングの開催を市民の皆様との協働事業として新たな企画



市外からも多数の参加者が訪れた12月1日(土)の駅からハイキング

を検討しつつ、毎年大勢のお客様に来ていただく中で「散歩のまち 匝瑳市」として定着できればと考えています。

**問** 郷土の自然・歴史・文化の継承と観光振興のための事業としてインターブリーター(自然環境や史跡・文化について来場者にわかりやすく説明する人)養成講習を開設してはどうか。

**答** 本市の観光の拠点となる飯高地区には、飯高檀林跡を中心に巨樹・巨木や「ニッポンの里山100選

の地」等が多く、近年多くの観光客が訪れるようになりました。

これは、新聞、テレビ等の報道のみならず、地域や市民の皆様と行政が一体となった地道な取り組みによるものであり、とりわけ平成21年7月から毎週4日間、飯高檀林観光案内所に観光案内ガイドを設置していることも大きな力になっているものです。

来年度からは、観光協会を窓口として飯高地区周辺の観光案内を希望する方を登録する観光ガイド班を組織し、研修等を開催しながら人材育成を図る計画です。

こうした取り組みにより、将来的には市全体を見通せるインターブリーターの養成ができるものと考えています。

### 福祉

**問** 現在の障害者自立支援法が改正され、来年4月から実施される障害者総合支援法はどのように内容が変

わるのか。

**答** 改正後の障害者総合支援法では、障害者の範囲が見直されて、治療方法が確立していない難病を抱える方なども障害者の範囲に加えられることとなります。障害者支援の区分では、

### 企画・財政

**問** 新生匝瑳戦略会議の成果として匝瑳市再生への提案書が提出されたが、これを受け今後市としてどのように取り組んでいくか。

**答** まず、今回提出された提案書には、本市の課題解決のための仕組みや考え方を将来の匝瑳市を見据えた持続可能な地域づくり等が示されています。また、個別の懸案事項に対する提案もあり、幅広い視点から戦略

様々な提案が盛り込まれていくので、実現に向けては一つ一つを精査し具体化に向けて検討する庁内組織を立ち上げて、趣旨を十分に踏まえて積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

さらに、新生匝瑳戦略会議の今後の運営については、今回の戦略会議の結果を検証しながら、戦略会議のあり方を総括して方向性を打ち出していききたいと考えています。

### 公共交通

**問** 6月定例会でデマンド交通システムを提案させていただいた。その後の検討経過、進み具合またはデマンド交通に対する対応は。

**答** デマンド交通システムについては、新たな公共交通の一つと認識しており、担当課へ調査研究を指示しています。

また、市の公共交通としては、循環バスがあります。

市内循環バス利用向上対策委員会が利便性の向上、そのあり方について協議しています。特に、平成25年度は市の公共交通を考えるうえで重要な時期ですので、市内循環バス利用向上対策委員会での今後のあり方についての検討結果も踏まえて、新たな公共交通のあり方など、公共交通機関全般について、どうするか判断してまいりたいと考えています。

### 行政視察

文教福祉常任委員会では、12月7日(金)の委員会終了後、改築工事中の豊

当日は、現地において教育委員会学校教育課職員から概要説明を受け、工事が順調に進行していることを確認しました。



栄小学校校舎の建築状況を行政視察しました。

豊栄小学校校舎の一部は、老朽化が著しいため今回改築を行って、工事の完成予定は平成25年2月中です。

### 国保

**問** 平成24年度の国民健康保険税引き上げによって、収納状況および国保財政への影響は。

**答** 国保税については、国保会計の健全運営のために本年4月に税率改正を行いました。そのため、収納率が落ちるのではないかと懸念していましたが、

コンビニ収納の導入など、納付環境の整備や市民の皆様のご理解により、収入額、収納率ともに前年度同期をわずかに上回っている状況です。

国保財政への影響については、税額の引き上げは財源の一定程度を確保するために行いましたが、所得の減少などにより大幅な伸びには至っていない一方、一

人当たりの医療費は伸び続けています。歳出はさらに増加していくことを考えれば、国保財政の厳しい状況は今後さらに厳しさを増していくと考えています。

本年度の財政状況は、決算見通しを立てるまでには至っていませんが、10月末までの状況では、当初予算で見込んだ範囲で推移しています。

また、市の公共交通としては、循環バスがあります。